

条例廃止
賛成多数で可決

上福岡西公民館を
多様なニーズに応える施設に
市立公民館条例を廃止する条例

上福岡西公民館を廃止する条例提案があり、審議の結果、賛成多数で可決されました。廃止条例可決後、議員提案による附帯決議の動議がありました。賛成少数で否決となりました。

なお、令和6年度一般会計予算で上福岡西公民館は文化施設として整備する予算が計上されました。

問 文化施設で公民館事業を行う理由は。

答 社会教育事業を含めた生涯学習事業など公民館事業に加え、文化芸術、文化活動の場としての役割も担い、市民が利用しやすく、市民の交流が生まれ育まれる施設へ転換するためである。

問 文化施設になった場合、公民館運営審議会や上福岡西公民館の利用者懇談会はどうなるのか。

答 公民館運営審議会は引き続き、その役割を継承する審議機関を設置していく。

また、利用者懇談会は人のつながりが持てる組織として継続できるように調整している。

問 社会教育は国家権力からの介入があつてはならない。どのように条

例等で規定するのか。

答 教育委員会事務局組織規則に社会教育事業を推進する規定を設けた。

問 事業を行う上で、憲法や社会教育法などは遵守されるのか。

答 その通りである。



上福岡西公民館の新たな扉を開く

条例改正
全員賛成で可決

行政手続きの
オンライン化の推進
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正

デジタル技術を活用した行政手続きのオンライン化により、市民サービスの向上を図るため、必要な条例の一部が改正されました。

問 条例改正の内容は。

答 いままで書面で必要とされていた署名や押印、本人確認については、個別の条例等が定められているが、規定に関わらず、オンラインで代替措置ができるという規定を定めた。

また、手数料についてもオンラインで納付ができる規定も定めた。

問 具体的にどういう分野の何ができるのか。

答 例えば、自転車用ヘルメットの購入に対する補助金の申請と決定を、市役所に郵送や窓口

で手続きをする代わりに、全てオンラインでできるなどの事例が考えられる。

また、今後どのような手続きに拡充していけるか、全ての事業で対面での手続きがオンライン化できるか一つ一つ検討していく。



オンライン化で市民の手間を削減

条例改正
全員賛成で可決

持続可能な
介護保険制度のために
介護保険条例の一部改正

令和8年度までの第9期介護保険事業計画に基づいて、持続可能な制度の維持と、被保険者の負担軽減を図るため、3年に一度の保険料の見直しが行われました。

問 本市の介護給付費の状況、今後の見込みは。

答 要支援・要介護認定者数は増加傾向にあり、要介護認定率は令和5年の17・5%から令和8年には19・1%と増加する見込みである。認定者も約500人増加し、約5700人となる見通しである。

問 介護給付費全体では第8期の決算見込み約231億円に対し、第9期の3年間で約283億円を見込んでいます。保険料抑制のための取り組みは。

答 介護保険給付費等準備基金を取り崩すことにより、介護保険料の抑制を図っています。それにより、基準額は6万9千円に抑えることができました。



いつまでも安心して暮らせるように

また、国標準の13段階の所得区分に加え、市独自に高額所得者を対象に4段階を設定し17段階とした。それにより所得再分配機能が強化され、保険料基準額を抑制できる。

条例改正
賛成多数で可決

水道料金ついに値上げ
水道事業給水条例の一部改正

水道事業給水条例の改正案が賛成多数で可決され、合併に伴う平成20年の料金統一以来、初めて水道料金が改定されます。料金改定は10月1日施行で、具体的には12月検針分から新料金となります。

問 モデルケースでいくらの値上げになるのか。

答 夫婦と子ども1人の想定で、口径13mm、1カ月の使用量20㎡の場合、税込みで現行は1933円、改定後は2361円で差額は428円となる。個人事業主で口径20mm、使用量65㎡の場合は8168円から9748円で、差額は1580円となる。

問 条例改正に至る経過は。

答 施設更新の精査や企業債の利用、施設のダウンサイジング、職員の削減など様々な取り組みを行ってきた。また、加入金収入も好調で、県内でも比較的安価な料金を維持していたが、必要な経費を水道料金収入で賄えていなかった。

ここで燃料価格や物価高騰、投資・財政計画の将来シミュレーションを行ったところ、か

なり苦しくなることが分かり、このタイミングで改定する。

賛成

来年度は県水も上がる。いま改正すべき。改正しても県平均より安い。

反対

低所得者への負担軽減がない。値上げは来年10月まで見送るべき。



浄水場の耐震化も進む